

フレッシュな気持ち満載 (作文 第3回)

— 中学生になって —

中学生になってぼくが驚いたことは、気を付けなければならないことや、覚えなければならない決まりがたくさんあるということです。制服や髪形、自由だった小学生のころとは大違いです。しかし、「決まりを守る」ということは大切なことです。守るために必要なことを考えてみました。それは、「目標を立てる」ということです。目標を決めることでよいスタートが切れたらいいと思います。周りの人と助け合って行動する。思いやりを持って人と接する。まずはこの目標からスタートします。達成を目指して頑張ります。ぼくは正直、「言われないとできない」人です。主体的に取り組むことにも挑戦します。よろしくお願いします。

1年2組 女子

— 私の夢と中学校で頑張ること —

私には、捨てられてしまったりして、行き場のないネコや犬を保護し、新しい飼い主が見つかるまで育てるという夢があります。この夢を叶えるためには、しっかりとした生き方の計画をしなければなりません。施設の設立やそのためにかかるお金のことなど、これからの学習は夢の実現のためにもしっかりと身に着けていかなければならないと思っています。中学校ではたくさんのことを学習し、自分なりのアイデアが作れるような人になりたいです。最終的な夢は、殺処分されるネコや犬を無くし、幸せに暮らせるようにしてあげたいと思います。

何事にも全力を投入して取り組みます。得意分野はより一層成績を上げ、不得意な分野は、努力して結果を出していきたいと思っています。

1年2組 女子

— 中学校になって —

僕は、中学生になって初めての登校日、通学路がわからず、学校にたどり着くことができるのか、本当に不安でした。思い起こせば、入学式の時も、いきなりの本番が不安でした。先生の話も自分がどれくらいわかっているのか不安でした。無事入学式が終わり帰り道、公園で友達のお母さんが「写真でも撮ろうか？」と言ったので、桜の下で写真を撮りました。その時、満開の桜を見て「ああ～、ぼくも中学生か！」と初めて思いました。中学生なら「勉強と部活に頑張らないと」と思いました。未だに毎日学校にたどり着くか心配しながらの登校です。その上、家から学校までは遠くて、足が痛いです。

僕の目標は、「授業をしっかりと聞く。クラスや部活で友達を作る。テストの時は家で一生懸命がんばる。成績を上げ、よい高校に入学する」です。そして、苦手な数学を得意な教科にしたいです。

1年3組 男子

